



みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布

令和5年(2023年) 2 / 20
No.1732



ちようふ

CONTENTS(主な内容)

- 子ども特派員が行く! 消防団突撃レポート……………2・3
- 調布駅北側ロータリーのバス・タクシー乗り場の変更……………4
- 3月は東京都の自殺対策強化月間……………7
- 家族で木島平! スキー・スノーボードツアー……………10
- 令和4年度 調布市平和展……………11



発行: 調布市 (毎月5日・20日発行) 所在地: 〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
編集: 行政経営部広報課 市ホームページ: <https://www.city.chofu.tokyo.jp/>

☎042-481-7111

市報ちようふの配布に関する問い合わせは
市報ちようふ配布コールセンター
☎042-300-3131

問 総合防災安全課 ☎481-7348



子ども特派員が行く!

消防団 突撃レポート

消防服を着た消防団員も消防車も、そのカッコよさで子どもに大人気! ですが、「消防団って聞いたことはあるけど、子どもに聞かれたらきちんと説明できないかも…」という方も多いと思います。

今号では、子ども特派員の取材を通じて、地域・社会に貢献する消防団の活動をご紹介します。

詳細は次の面をご覧ください →

手をつなぐ樹 416



1月29日の日曜日。空が透き
徹るような快晴の下、最高気温
8度とまずまずのランニング日
和に恵まれたことは大変幸運だ
ったと言えよう。

当日は早朝より、第67回市民
駅伝競走大会の出場選手および
応援に駆けつけた関係者が、3
年ぶりの号砲を待ちかねるかの
ように、飛田給駅から味の素ス
タジアムにまで列を連ねた。参
加チーム数は248(内、完走230)。
老若男女1000人以上のものラ
ンナーが柔らかな日差しのもと
それぞれの自己目標に向かって
懸命に疾走した。味スタ内のコ
ーリスを使用できたのは実に5年
ぶりとなる(註)。

悲願の優勝を目指して、ある
いは親しい友達同士の思い出づ
くり、など走る動機はさまざま
まだあったようだが、あたたかも
コロナ禍を耐え忍ぶるを得なか
った積年の鬱憤を晴らすことが
く、全ランナーが全身を躍動さ
せ高揚感に浸りきってゴールす
るように私には感じられた。皆
さん本当にこのような瞬間を渴
望しておられたのだ。

日常生活とは通常、言ってみ
れば何の変哲もない単調な行為
の繰り返しに過ぎない。しかし、
ひとたび平和や健康などの面で
生活が暗転したとき、堅実な日
常を脅かされることのない平穩
な日々が本来どれほど有難いも
のだったか、今更ながらに我々
は痛切に思い知る。

そのことの尊さを再認識し、
なんとしても今年には明るい展
望を確実なものにしていきたいと
思う。そのためにも、感染症対
策には今後とも万全を期しなが
ら、「意識の上の『脱コロナ』」
を提唱していきたい。

調布市表

友友貴樹

(註) 2019年、2020年大会は、ラグビーW杯および東京2020大会の準備により、会場をアミノバイタルフィールドに変更して開催。

